



# 浦島伝説

## 2012秋開幕

暑い夏が終わりました。ロンドンオリンピックでは、過去最多のメダルを獲得し、日本選手の底力を見せつけられました。また、夏の甲子園では、大阪桐蔭高校が春夏連覇を成し遂げ、話題になりました。そして、名勝負の後に、心に響くたくさんのメッセージが残されました。

お家芸の柔道は不振が続く中、むき出しの闘争心で挑んだ女子57キログ級の“野生児”松本薫選手が金メダル第1号に。畳を下りるとスイーツ好きの女子らしく「パフェ食べたい！」と笑った。

「諦めずに頑張れば夢はかなう」。挫折を味わい、うつ病になった日々を乗り越えたレスリング女子48キログ級の小原日登美選手は優勝の瞬間、号泣。支えてくれた家族と「みんなで取った金メダル」と表現した。

競泳のエース北島康介選手は個人種目メダルなしに「悔しいですけど、悔いはないっす」。最終種目の男子400メートルメドレーリレーは「康介さんを手ぶらで帰らせるわけにはいかない」と話し合った松田文志選手や後輩の奮起で銀メダルをつかんだ。

「卓球の神様が応援してくれた」。卓球界初のメダルとなった「銀」に輝いた女子団体の平野早矢香選手は笑顔でピースサイン。初大会だった石川佳純選手はメダルを首にかけられ「すっごく重い」。

体操男子の内村航平選手は、風格漂う演技で個人総合優勝。4年前の2位から表彰台を一段上がり「夢みたい。やっとここまで来た」とほほ笑んだ。

フェンシング男子のフルーレ団体の千田健太選手は宮城県気仙沼市出身。2位に入り、東日本大震災の津波にのまれた亡き親友への思いを口にした。「ずっと支えてくれた大切な友達。ありがとうって言いたい」。

サッカー女子の決勝で米国に敗れ、「銀」を獲得したなでしこジャパン。悲願のメダルを手にした沢穂希選手は「最高の仲間と戦えて本当によかった。どんな色でも価値がある」と誇らしげ。男子も44年ぶりの4強入りを果たしたが4位。大津祐樹選手は「まだまだ下手くそ。もっと成長したい」と前を向いた。

ボクシング男子ミドル級で王者になった村田諒太選手。激しい闘いで腫れ上がった顔で言った。「金メダルが僕の価値じゃない。これからの人生が僕の価値になる。恥ずかしくないように生きていく」

※8月14日四国新聞から引用

そして、今日から2学期が始まりました。オリンピックや高校野球で見られたような感動的な場面が見られることを期待しています。

**新連載** 昨年度の「オーストラリア体験記」に続き、海外研修の記録を連載します。乞うご期待！

**【アメリカ体験記①】** 三豊市中学生海外派遣研修の生徒引率で、アメリカ（ウィスコンシン州ワウパカ）を訪れることになった。これまでに、韓国とオーストラリアには生徒引率で行ったことがあるが、アメリカは初めて。おまけに初めてのホームステイをしなければならない。しかも、今回は「団長」という責任ある立場でもある。詫間中の生徒がいないのは寂しいが、市内の中学生11名を引き連れての旅となった。

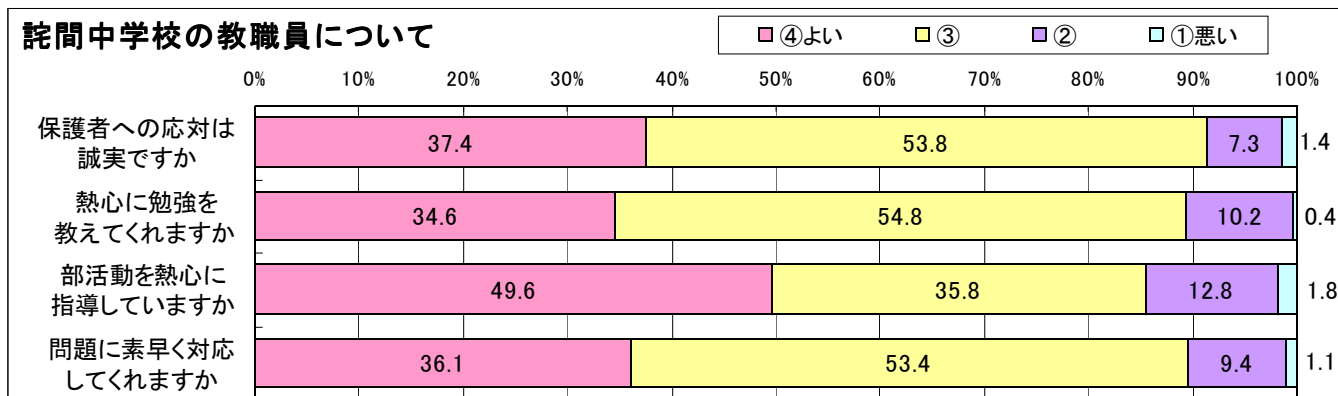
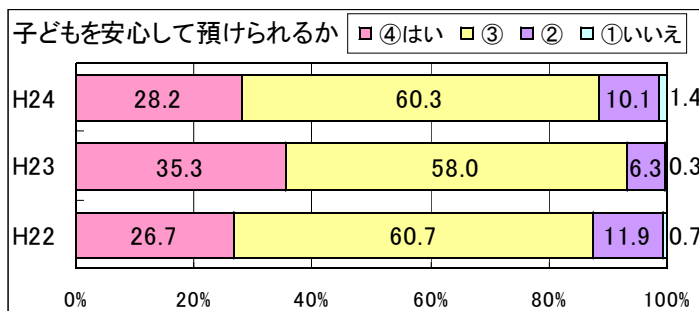
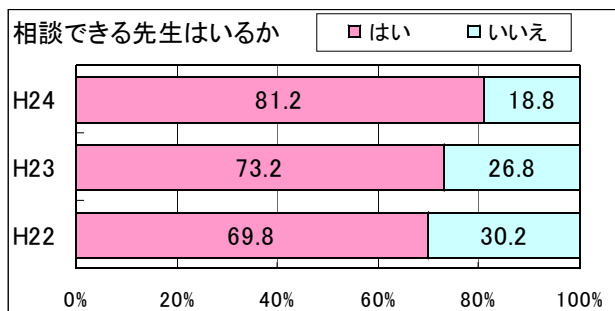
8月10日午前10時半。引率教員3名を含む14名を乗せたバスは三豊市役所を出発した。途中、淡路島のパーキングで甲子園に行く香川西野球部の応援団に出会った。その甲子園のせいかで高速は渋滞し、バスが進まない。バスの運転手さんも遅れてはいけないと思い、渋滞を抜けてからはハイスピードで飛ばしていく。そのせいで激しいゆれが起こり、バス酔いをする生徒も出た。不安なスタートとなった。

午後4時55分。関西空港を旅立った飛行機は、無事午前10時40分にシアトルに到着した。不思議なものである。時差が16時間あるため、時間が逆戻りしている。そこから、国内線の飛行機に2度乗り換え、アップルトン空港に着いたのは午後9時前。さらに、出迎えてくれたホームステイ先の車に乗り、ワウパカまで約40分。家にたどり着いたのは、三豊市を出発してから25時間後であった。長旅の疲れと得意の日本語が喋れないストレスとで、かなり厳しい1日目となった。

ただ、唯一の救いと言えば、私がホームステイする家は、かつて高瀬中学校ALTとして一緒に勤務したことのあるジェニファーの両親の家であり、私のことを少し知っていたことである。さらに、翌日にジェニファーが帰ってくるので、彼女が日本語を覚えていたら少しは通訳をしてくれるだろうという淡い期待を抱いていた。しかし、その前に英語の聞き取りでかなり苦戦することになった。（文責：安藤紳一）

# 1学期の保護者評価の結果

1学期末に保護者アンケートを実施しました。紙面の関係ですべてを紹介することはできませんが、その一部を掲載します。



- ◇ 入学式で生徒と一緒に大きな声で校歌を歌ったり、体育祭で一生懸命汗を流して生徒と一緒に走ったり走ったり動いたりしてくださる先生方の姿を見ると、とてもうれしく感じ、頼もしく安心しました。先生一人一人が同じ気持ちで子どもたちに向き合って指導いただけたらと思います。
- ◇ 学年団通信や浦島伝説などの配布物が多く、内容も濃く、とてもありがたいです。忙しい先生方ばかりなのに、丁寧に作成されており頭が下がります。読む度に学校の方針が理解でき、協力というか共感させられます。
- ◇ 先生はとても熱心に部活動を指導してくれていると思います。ただ、自分の子どもの実態を分かっていない保護者がいるのではないのでしょうか。我が子も含めて、悪いことをしたり、トラブルがあったりしたときは、どんどん保護者に連絡してほしいと思います。
- ◇ 思春期で子どもとのかかわり方に悩むことが多いですが、少しでも多く子どもと笑い合えるよう日々努力していきたいです。気になることなどがあれば、何でもお知らせください。
- ◇ クーラーを導入していただき、ありがたく思います。節電も分かりますが、熱中症予防のため、30度に達している日（湿度の高い日）は使用してほしいです。
- ◇ 2年生になってからは、クラスでの出来事を楽しそうに話してくれます。これからも前向きにがんばってほしいと思います。
- ◇ 今は県大会に向けて頑張っています。後半は高校受験に向けてしっかりがんばってほしいです。学校のサポートもしっかりしていて、親も安心しています。あとは本人の頑張りです。家でもおおらかにしっかりサポートしたいと思います。
- ◇ 以前に比べると、あいさつをしてくれる生徒が少なくなったように思います。
- ◇ 女子の服装や2人乗り、ノーヘル、学生カバンなしなど、去年に比べて目立ちます。私も息子（友達）に対して、悪いところがあれば注意していますが、学校はどうしているのでしょうか。親は学校の中の様子が分からないので、悪いところがあれば教えてほしいです。家では話し合いをすることもあります。
- ◇ 地域の活動に参加する生徒が少なく、資源回収やアルミ缶回収の取り組みに積極的に参加するよう呼びかけてほしいです。地域の方に支えられているのに、子どもたちは知らない顔をしていると思います。
- ◇ 一部の生徒により風紀が乱されていることがとても残念です。先生方も大変だと思いますが、一人一人の個性を生かしつつ、ご指導いただけたらと思います。詫中がひとつになれる日を期待しています。
- ◇ 学校生活、部活動を通じて、感謝の気持ち、あいさつ、謙虚さを身に付けてもらいたいと思います。各顧問の先生方によりしくお願いしたいです。